

目次

はじめに	1
第1章 環境研究センターの概要	
1・1 沿革	7
1・2 施設の概要	8
1・3 位置図	9
1・4 組織と業務	10
第2章 業務概要	
2・1 総務課	13
2・2 企画情報室	13
2・3 大気騒音振動研究室	14
2・4 廃棄物・化学物質研究室	16
2・5 水質環境研究室	18
2・6 地質環境研究室	19
第3章 啓発事業、学会発表等	
3・1 啓発事業	25
3・2 学会発表	33
3・3 論文等の発表	37
3・4 報告書等の執筆、発行	37
3・5 インターンシップ等による研修生の受け入れ	38
3・6 国際協力のための国外への職員派遣	38
第4章 調査報告編	
4・1 大気騒音振動研究室	
(1) 市原岩崎西局におけるPM2.5高濃度予測に基づく測定(2) -国立環境研究所Ⅱ型共同研究 PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明-	41
(2) 微小粒子状物質成分分析調査(2017年度分)	44
(3) 固定発生源周辺における大気中揮発性有機化合物の自動連続測定 -市原市岩崎西における測定-	48
(4) 大気中の化学物質環境実態調査(環境省委託)	52
(5) 化学物質大気環境調査	54
(6) 大気化学に関する調査研究(3)	57
(7) 常時監視測定機の精度管理について(3)-PM2.5自動測定機について-	59
(8) ヒートアイランド実態調査 -2010年7月~2018年2月のデータの集計結果-	61
(9) 酸性雨調査 -2017年度結果-	65
(10) 湿性乾性降下物調査 -2017年度結果-	67
(11) 環境放射能水準調査(2016年度)	69
(12) 大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設及び 揮発性有機化合物排出施設に対する立入検査	73
(13) 騒音・振動の技術支援 -2017年度分-	75
4・2 廃棄物・化学物質研究室	
(1) 化学物質環境実態調査 -1-ニトロピレンの分析結果-	77
(2) 千葉県における環境大気中のダイオキシン類濃度について	

- 2017年度の結果 -	79
(3) 亜鉛の環境基準超過河川におけるニセネコゼミジンコ繁殖影響試験	81
(4) 印旛沼及び手賀沼における環境残留性有機汚染物質の濃度調査	82
(5) 印旛沼におけるネオニコチノイド系農薬の水質濃度調査	87
4・3 水質環境研究室	
(1) ノルマルヘキササン抽出物質の分析における エマルジョン改善効果・方法の検討	91
(2) 赤潮等プランクトン調査	93
(3) 東京湾の青潮発生状況(2016年, 2017年)	97
(4) 北印旛沼におけるオニビシ影響調査	99
(5) 手賀沼における浮遊物質及び底質中の放射性セシウム調査	103
4・4 地質環境研究室	
(1) 千葉県における2016年の地下水位変動	107
(2) 2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化現象がみられた 九十九里平野北東部における地質構造： 吉崎浜でのオールコアボーリング調査結果	109
(3) 2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化現象がみられた 東京湾岸埋立地における液状化－流動化層準： 千葉市美浜区高浜での調査結果	112
4・5 企画情報室	
(1) 環境講座のアンケート結果から見る参加者の学びの視点 －千葉県環境研究センター公開講座から何を学んだのか－	115
(2) 環境学習教材「川の汚れ浄化ゲーム」による学習効果のアンケート調査	118
(3) 高滝ダム貯水池におけるアオコ調査	122
第5章 研究報告編	
5・1 地質環境研究室	
(1) 千葉県北西部東京湾岸低地の沖積層基底面図の作成	129